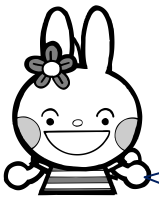
神明コミュニティだより

この号は、町内回覧のみです。

№２２



みなさん、元気にお過ごしでしょうか。

教　頭

Ｈ．２０．８．２５
鯖江市神明小学校

Community　：　深い結びつきをもった共同体。

長いと思っていた夏休みも、今週で終わりですね。大きな事故もなく終わりそうで、ほっとしています。９月１日（月）の始業式に向かって、宿題だけでなく体調の準備もお願いいたします。

○学力向上の秘訣　その２

№１８では水泳学習のための「健康チェックカード」を忘れず持たせていただくことをお願いしました。№１９で、学力向上の秘訣として「忘れ物をしないように、家庭でバックアップしてもらう」ことをお伝えしました**。発行後、**

忘れ物の学校へのお届けが、ぐんと減ったような気がするのです！

保護者のみなさんが、「コミュニティ便り」を読んでくださり、それまで以上に、お子さんの様子に関心をもち、気を配ってくださっていることが形として表れたものと、書き手の教頭としては、本当に嬉しい限りです。

そこで、気をよくして、学力向上の秘訣第２弾をお届けします。立命館大学の陰山英男教授が新聞に書いておられた文章からの抜粋です。

子どもの生活の仕方に注意している家庭でも、お盆明けくらいからは、崩れてくることがある。保護者のお盆休みに合わせて帰省したり旅行したりして、生活リズムが狂う。起床が遅くなり、生活する時間帯がずれていく。お盆明けから学校に行っているときと同じ時間帯で生活するよう注意したい。この時期に生活が崩れると不登校や非行問題の芽になっていく。夏休みの学校生活にいいスタートを切れない。（略）

集中力のある子どもは睡眠がしっかり取れている。たまたま超難関大学と呼ばれる大学を卒業した経験を持つ研究者と同じ旅館で過ごした際、家庭環境について尋ねたことがある。そうした人たちの親が言っていたことは、「勉強しなさい」ではなく、「早く寝なさい」だった。

早く起きて早く眠る朝型の生活がもたらす効果は大きい。改めて強調しておきたい。

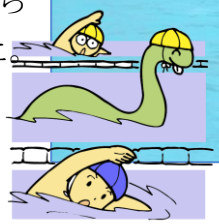
＜日本教育新聞　平成２０年８月４日＞

やっぱり

早寝　早起き　朝ご飯！

○特設「神明小スイミングスクール」　7月22日～25日

夏休みに入ってすぐの４日間、水泳教室が開かれました。各学年の泳力目標に達しなかった子どもたちを集めての**特別指導**です。どこのスイミングスクールにも負けない指導陣（！）（本校教員オールキャストです）の特訓を受けて、参加した子どもたちのほとんどが、目標をクリアできました。



○鯖江市民ラジオ体操デー　7月26日

青少年健全育成協議会主催の鯖江市民ラジオ体操が神明小学校のグラウンドで行われました。

児童会の代表が、「交通安全の誓い」の先導をしました。無事故は、私たち全員の願いです。

○５年生、宿泊体験学習　7月29日～8月1日の3泊4日

５年生が、奥越高原青少年自然の家での長期宿泊体験学習に出かけました。ご家庭でも３泊４日のお出かけは滅多にないことでしょうが、子どもたち９０名近くが保護者の助けなしで自然の中で活動するという、この宿泊体験学習のすごさは想像して頂けると思います。学校側は、大切なお子さん方をお預かりするのですから、安全面には十分配慮し周到な計画を立てて臨みました。

「自主性」「協力」「責任」がめあてでした。仲間とともに自然の中での過ごす体験を経て、一段とたくましくなった５年生。２学期からの活躍が楽しみです。５年生の保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

2学期も楽しさいっぱいの学校です。元気な子どもたちの登校を待っています。